

夢を叶えるために学生時代にやっておきたいこと 3月6日

先日、アントレプレナーシップ推進大使の国井美佐さんをお招きし、2・3年生を対象に「挫折から学んだこと」「夢をかなえるために」をテーマに講話をしていただきました。国井さんは、アナウンサーとしての経験や現在の広告会社経営者としての立場から、夢に向かって行動することの大切さについて分かりやすくお話ししてくださいました。講話では、アナウンサーの仕事は「話すこと」だけではなく、相手の話をよく聴くこと、よい質問をすることがとても大切であること、また一つの情報を伝えるためには多くの取材や情報収集が必要であることを教えていただきました。さらに、夢をかなえるために大切なこととして、「まずはやってみること」、「自分のことを知ること」、「プラス思考のクセをつけること」、「小さな目標を立てて行動すること」など、具体的なお話がありました。生徒の感想には、「失敗するのがこわくて、やる前からあきらめてしまうことがあったけれど、まずはやってみようと思った」、「夢がまだ決まっていなくても大丈夫だと知って安心した」、「自分にはできないと思うことが多かったけれど、『できる』と思うことが大切だとわかった」、「前向きな言葉を使うことで、気持ちも変わっていくのだと思った」などの声が見られました。また、「成功するまで続ければ失敗ではない」、「自分の人生の主役は自分」という言葉が心に残ったという感想も多く、生徒一人一人が自分のこれからの生き方について考える機会となりました。今回の講話を通して、生徒たちは、夢をかなえるためには、まず一步を踏み出すこと、自分を信じて前向きに努力を続けることが大切であると学びました。これからの学校生活の中でも、一人一人が自分らしい目標に向かって歩んでいってくれることを願っています。



アントレプレナーシップ... 起業家精神。困難や変化を恐れず、自ら枠を超えて行動を起こし、新たな価値を創造する精神や能力のこと

タブレットの約束をみんなで

「タブレットの約束」について、生徒の意見をもとに見直しを行いました。各学級で話し合った内容を、生徒会と教職員が協議し、新しい約束としてまとめました。見直しの中では、「学校と自分の家以外の場所で使わない」というルールを変えてほしいという意見が出されました。そこで検討した結果、この約束にある「自分の家」には、帰省先や親戚の家なども含むことを確認しました。また、「タブレットで使用できるサイトの制限を解除してほしい」といった意見も出され、学習に必要な範囲で、より適切に活用できるよう、使い方について検討を行いました。このような過程を経て、「タブレットの約束(令和8年度版)」が完成し、先日の生徒総会で承認を得ました。生徒が主体的にルールづくりに関わった今回の取組を、今後の学校生活にも生かし、タブレットのよりよい活用につなげていくことを期待しています。



第3回 いじめアンケート

▼「嫌な思いをしたことがある」1.9% (3人)

「仲間はずれや、無視をされる」「軽くぶつかられる」等

▼「今も嫌な思いをしている」0.6% (1人)



万が一、生徒の生命や安全に関わる重大な事案が見られる場合には、警察等も含む関係機関とも連携し、迅速に対応してまいります。近年は、スマートフォンやインターネット上でのトラブルがきっかけとなるケースも増えております。明日からは長期休業に入りますので、ご家庭でも、お子さまが安心して利用できるよう、再度見守りやルールづくりについてお子様とともにご確認いただけますと幸いです。



余市消防署の方からAEDの使い方を教えていただいた2年生



学年委員を中心に創意工夫にあふれた学年レクリエーションを実施した1・2年生



ダンス講師HIRAKU(小塚拓)先生をお迎えし、ダンス発表した1・2年生

【要確認】生徒玄関解錠時間が変わります

現行: 7:45 ~8:15



4月7日(火)始業式~: **7:55**~8:15

子どもたちが健やかに成長していくためには、適切な運動、調和のとれた食事、十分な休養・睡眠が大切です!

**「早寝」「早起き」「朝ご飯」**